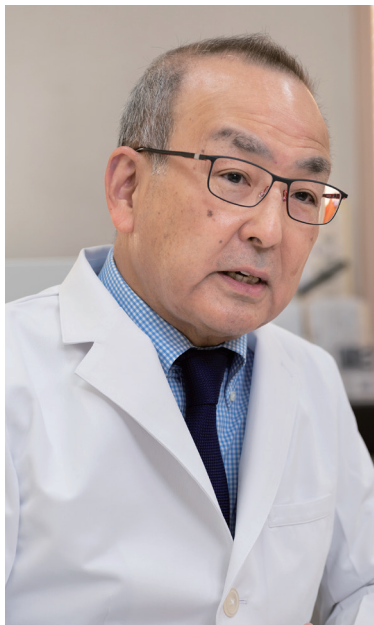


去年、健(検)診を受けていればという人がいると、医者として本当に悔しい

早期発見は命を守るだけでなく、 今までと変わらない生活も守ることにつながります



目黒区医師会会長
渡邊英章さん

特定健康診査・がん検診、は、自分の体の状態を知るための良い機会です。

がん検診は、がんの有無と、なりやすいかのリスクを調べる2つのことを行っています。早期発見・治療をすれば、多くのがんは治る時代です。早期に治療することで、体への負担は大きく違ってくるため、今までの生活を変わず続けることもできます。実際に私の医院で検診を受け、がんが発見されたかたも多く、「早くに分かって良かった」とおっしゃいます。目黒区は23区の中でも早くから、がん検診に内視鏡検診(胃カメラ)を取り入れました。これにより早期の胃がんを多数発見できています。

また、特定健康診査は、自覚症状のない病気を発見して、適切な生活指導を受けられるという利点があります。血圧や血糖値が高いといった生活習慣病が、心筋梗塞、脳出血などの大病につながる場合があります。今のところ体の悪いところはないと受診しないでいると、病気が進行しているかもしれません。油断せず、定期的に健(検)診を受けることで、病気を未然に防ぐことができます。

コロナの影響もあり、昨年、一昨年と特定健康診査・がん検診の受診率は思わしくありません。この2年間、検診を受けていなくて、その間にがんが大きくなっていったというケースもあります。健康でいることは、家族のため、社会的活動を続けるためでもあります。目黒区の特定健康診査・がん検診は、他区と比べてもきめ細かく、質の高いものだと思っています。無料で受けられます。特にこの2年間受診を控えていたかたは、ぜひ受けていただきたいと思います。



内視鏡の操作をする渡邊先生